

臨床研究

研究課題：心臓サルコイドーシスの適確な診断と適切な治療および経過観察を確立するための後向き観察研究

研究代表者：矢崎 善一（まつもと医療センター松本病院非常勤医師）

研究期間：承認日～2019年3月31日

概要

2016年に心臓サルコイドーシスに対する新たな診療ガイドラインが作成されました。今まで診療してきた患者様の診断、治療、経過をふりかえることにより、診療ガイドラインが妥当なものかを検証し、今後診断をより確実なものとし、治療および経過観察をより適切に行えるように役立てていこうというのが研究の目的です。

過去のカルテからすでに診療してきたデータを調べます。患者様の自覚症状、診察所見、血液検査データ、胸部X線や心電図（ホルター心電図も含みます）所見や、各種画像検査（心エコー、心臓MRI、PETも含めた心臓核医学検査）所見を収集します。これらの所見と施行された治療（心不全や不整脈に対する薬物治療、ペースメーカー治療や手術、副腎皮質ホルモンなどの免疫抑制薬）や経過との関係を検討します。この研究のために特別な検査や治療は行われません。

対象は当院で経過観察している疑い例も含めた心臓サルコイドーシス患者様です

個人情報等の扱い

研究の公表に当たっては、個人情報の保護に十分に留意し、個人が特定されないように十分に配慮します。

この研究について、ご質問のある方は臨床研究部までご連絡ください。